

Incredible India!

昔、中国・韓国は「近くて遠い国」と言われましたが、大部分の日本人にとってインドは今も「遠くて遠い国」ではないでしょうか。現地法人の立ち上げに伴い、約2年間をインドで生活するという貴重な経験をした私は、数々の「Incredible India」（信じられないインド）を体験しました。「Incredible India」はインド観光キャンペーンのキャッチコピーで、「信じられない（くらい素晴らしい）インド」の意味なのですが、辞書を引くと「Incredible、には「（話が）信じられない」「信用できない」の訳もあります。私の「Incredible India」をいくつか紹介します。

場当たりの？

インドには「ジュガード」と呼ばれる思想があります。「儉約精神と工夫による応急対応」の意味で、起こった問題に対して間に合わせ的でも早急に解決してしまおうという考え方です。例えば、道路に穴が開いた時、安上がりには土で埋め戻すことで済ませます。当然すぐまた同じところに穴ができます。埋め戻し→穴→埋め戻しが続くことになりますがそれでよしとします（実際インドの道は穴だらけです）。また、車で目的地に到達するのに、ドライバーがあらかじめ行き方を確認せず、取りあえず出発して道に迷ってから考えることが多々あります（地図が読めないとの説もあり）。この「取りあえずやってみて、問題が起こってから考える」傾向は、突然の新制度発表→たび重なる実施の延期に見られるように、政府レベルでも散見されます。

約束にルーズ？

ビジネス上で大きな約束事を反故にされたことはありませんが、時間感覚はかなりアバウトです。インドの夕食は早くて午後8時開始ですが、時間通りに集まるのは日本人だけで、インド人は大抵遅れて

やってきます。交通渋滞云々言い訳はあるのですが、事情はこちらも一緒ですから、つまりは遅れることが罪だとはあまり思っていないようです。この学習効果で、現地法人の開所式の折には、意図的に開始時間を早めに案内することにより、ゲストにセレモニーの開始に間に合うよう集まってもらうことができました。ちなみに、開所式の記念品は2か月前から手配していたにもかかわらず到着がぎりぎりの前日で冷や汗ものでした。

嘘も方便？

移動はすべて車だったのですが、今のドライバーは4人目です。レンタカー会社の基本給が政府の決めている最低保障賃金に近いので、早出・残業・休日出勤で稼ぐことになります。仕事が終わってアパートに直帰したり週末ゴルフがないと、悲しそうな顔をするか文句が出ます。「俺の残業代稼ぎのために毎晩飲み歩け」と言わんばかりです。さもなくば、架空の早出手当を請求するか、昼間無用に走り回って走行距離を稼ぎます。彼らにとっては生きるために仕方なくやっていることで、言わばお布施をもらうような感覚で、それほど悪いこととは思っていないようです。それでも毎日顔を合わせなければならないドライバーに両目をつぶり切れなくなって交替を決断するのですが、みなさん人間的に良いひと達だけに苦渋の選択です。

以上項目にはすべて？マークを付けましたが、インドの人達が信じられるか信じられないかは捉え方次第、基本的には「ジュガード」と日本の「カイゼン」の真逆に代表される考え方の違いなのだと思います。人懐こく話し好きな友人達の名誉のために…。

(T.K)

編集後記

- ・農薬時代は創刊後65年の2019年に記念すべき200号を発刊致しました。
オリンピックイヤーの2020年は日本曹達 創業100周年の節目の年であり、新たな方針として農薬以外の農業に関する最新の情報を積極的に皆さまに発信することとし、長年ご愛顧いただいた農薬時代の名称を『農業新時代』と変更し、第1号を発刊致しました。皆様気づきましたでしょうか？
- ・本号では農薬関連の記事のほか、カルビー株式会社へのインタビュー記事を掲載しました。ポテトチップスのバレイショ専門官である山谷さんから現場での苦労話を明るい笑顔でお話いただきました。ご協力いただいたカルビー株式会社の皆様には深く感謝いたします。

「農薬時代」の記事は農薬中心でしたが「農業新時代」となり、初めての加工食品の記事です。今後とも様々な農業分野の記事を掲載していく予定です。

- ・ついに某国内自動車メーカーは高速道路における手放し（ハンズオフ）運転を実現させました。ドローンはもちろんのこと、その他の農業機械の自動運転化は近い将来実現されるのは間違いありません。そのような状況下で弊社が今後どのように対応していくかが現在の課題です。試行錯誤を重ねながら前へ進んでいきたいと考えています。

子年の2020年が、皆様にとって幸多き一年となりますよう心からお祈りいたします。

(川原)

事業分野

アグリビジネス、
機能性化学品事業、医薬品事業
環境化学品事業、クロールアルカリ事業

発行日
編集発行人
発行所

Nōgyō shin jidai
農業新時代
New agriculture age

2020年2月1日

川原 正 見

日本曹達株式会社

東京都千代田区大手町2-2-1
編集部 ☎(03)3245-6178

NIPPON SODA CO.,LTD.

SHIN-OHTEMACHI BUILDING,
2-1, 2-CHOME, OHTEMACHI
CHIYODAKU, TOKYO, 100-8165, JAPAN

(禁転載)
第1号

ホームページ <https://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1 ☎(03)3245-6178

大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-4-10 ☎(06)6229-7343

札幌営業所 〒060-0061 札幌市中央区北一条西4-1-2 ☎(011)241-5581

仙台営業所 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3 ☎(022)227-1741

関東営業所 〒330-0845 さいたま市大宮区仲町3-13-1 ☎(048)677-6010

福岡営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神2-14-13 ☎(092)771-1336

二本木工場 〒949-2392 新潟県上越市中郷区藤沢950 ☎(0255)81-2300

高岡工場 〒933-8507 富山県高岡市向野本町300 ☎(0766)26-0206

小田原研究所 〒250-0280 神奈川県小田原市高田345 ☎(0465)42-3511

榛原フィールド
リサーチセンター 〒421-0412 静岡県牧之原市坂部62-1 ☎(0548)29-0611

磐梯フィールド
リサーチステーション 〒969-3302 福島県耶麻郡磐梯町大字更科字比丘山3967 ☎(0242)73-2525

更別試験地 〒089-1571 北海道河西郡更別村上更別南12線101-7

農薬の「真価」と 「進化」を見つめて。

日本曹達は、豊かな研究開発力で、新たな農薬の価値を創造し続けます。

病害防除に

トップジンM	パンチョTF	ピシロック
ベフトップジン	トリフミン	コナケシ
ベフラン	ベルコート	アグリマイシン-100

害虫防除に

モスピラン
ニッソラン
ロムダン

除草に

ナブ
ホーネスト



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
☎03-3245-6178

かがくで、
かがやく。

【Memo】